

大安寺報

第63号



曹洞宗 圓祥山大安寺
住職：長岡 俊應
副住職：長岡 俊成
〒039-4401
青森県むつ市大畑町
本町 80 番地
Tel 0175-34-2926
Fax 0175-34-6426
E-mail info@daianji.jp
http://www.daianji.jp

名句・名言を学ぶ

樋野興夫 (医師)

明日この世を去るとしても、
今日の花に水をやりなさい。

新緑が目には鮮やかな季節となりました。山門前の柳は葉を盛んに茂らせ、遠くのはその輪郭をさらに色濃くしています。しかしコロナ禍に見舞われた中においては、その鮮やかさも心なしか色あせて見えるようです。連日のように、逼迫する医療現場や、感染してつらい症状に苦しみ、短い間に重症化してお亡くなりになる方の様子が報道されています。中には二十代で亡くなる方もおり、「死」というものをより身近に感じるようになった方も多いのではないのでしょうか？遅々として進まないワクチン接種、変異株の猛威にも見舞われ、先の見えない状況が続いています。

冒頭のことばは、「がん哲学外来」を提唱し、医療現場と患者の間にある隙間を埋めるべく、科学としてのがんを学びながら、がんに哲学的な思考を取り入れていく立場を取りながら、病院や医療機関のみならず、集まりやすい交流の場「メディカルカフェ」を展開している樋野医師のことばです。皆さんは、この「今日の花に水をやりなさい」ということばをどう受け取りますでしょうか？文字通り、「家の庭に咲く目の前の花に水をやる」と受け取っても良いでしょうか。仏教・禅の教えに当てはめて考えると、「今」という時間、ここという場所を大切に、自身と縁のある存在のために献身的に尽しなさい」ととらえられます。

た。コロナ禍になったことで人間の活動が抑制され、そのことよって大気汚染や海洋汚染が改善したというニュースもありましたが、「家族という存在の有難さ」という気づきを多くの人が得たのも、コロナ禍だからこそその出来事でしょう。

合掌(副住職)



大安寺
公式ホームページ

スマートフォン・
タブレット端末の
カメラ機能で
読み取ってください。



大安寺
公式 facebook ページ

大安寺の宗旨：曹洞宗 両本山：福井県 永平寺・神奈川県 總持寺 高祖：道元禪師 太祖：瑩山禪師
ご本尊：釈迦牟尼仏 本尊唱名：南無釈迦牟尼仏 (なむしゃかむにぶつ)

【新型コロナウイルス感染症拡大防止のための当寺の対応について】

- ・屋内ではマスクを着用ください。
- ・本堂及び位牌堂へのお参りは、混雑時を避け、短時間かつ最少人数でお願いいたします。又、屋内での飲食はお控えください。
- ・以下のいずれかに該当する場合は法要への参列・参拝をお控えください。
- 発熱(37.5度以上)、又は咳、痰、息切れ等の症状、味覚・嗅覚異常
- ・お参りの際は必ず手指を消毒してください。
- ※感染拡大の際は法要を無参列法要とし、行事自体を中止する場合があります。その際は、公式HP等でお知らせします。
- 【葬儀・法事について】
- ・人数制限は設けず、席と席の間隔をあけ、換気を頻繁に行うなどの対応をします
- ・スマホなどでネット中継ができるようWi-Fiを整備しましたのでご利用ください。

【迎え火・送り火萬灯会への献灯について】

- 献灯料：紙製カップソーソク・五百円(迎え火用・送り火用それぞれ)
- ※カップソーソクには、亡き方へのメッセージや、「〇〇家先祖代々菩提供養」「(戒名)霊位菩提供養」等とお書きください。また、施主名もお書きください。
- ※カップソーソクは、迎え火(十三日)・送り火(十六日)両日とも、午後五時までは事務室に、午後五時以降は山門付近の受付に(荒天時は本堂に)お持ちください。
- 頒布：八月一日より事務所にて行います。

【お参りについて】

- ガラスや野生動物等が散らかしますので、お供えになった供物については、お持ち帰りくださるようお願いいたします。(缶・瓶飲料、湯飲み等含む)
- お花は供えたままで結構ですが、透明な包み紙を取るようお願いいたします。
- ゴミは全てお持ち帰りください。

【維持費納入について】

- 令和三年度分維持費の払込取扱票は、令和三年六月下旬の大安寺護持会総会終了後、郵送もしくは各地区役員さんを通してお手元にお届けいたします。
- 納入は、各地区役員さんへの直接渡し、ゆうちょ銀行ATM・窓口での払込、大安寺事務室での直接納入のいずれでも可能です。なお、納入期限は令和三年十二月三十一日です。
- ※払込取扱票が届かない方は、大安寺までお問い合わせください。

各種講座のご案内(令和三年六〜八月)

- ※新型コロナウイルス感染症拡大の場合は中止する場合があります。なお、当面の間、茶話会の開催は見合わせます。
- ◆「月例写経・写仏会」(予約不要)
日時：六月二十七日(日)、七月二十五日(日)、八月二十一日(日)
午後一時〜三時
内容：ミニ法話・写経・写仏
場所：中広間 参加費：三百円 備考：椅子席
- ◆「暁天坐禅会」(予約不要)
日時：六月六日(日)・二十日(日)、七月十一日(日)・二十五日(日)、八月一日(日)・二十二日(日)
午前七時〜八時 ※坐禅指導希望の方は午前六時半集合
内容：禅語紹介・坐禅・朝のおつとめ(法要)
場所：本堂 参加費：無料 備考：椅子坐禅可能
服装：動きやすい服装で。(スカート・ジーンズ不可)
- 行事カレンダー(令和三年八月)
- 八月十三日(金)
「迎え火萬灯会」午後六時半〜午後八時 ※荒天時は本堂
- 八月十六日(月)
「盂蘭盆会 施食会法要」(本堂)午前十一時〜
※同日午後二時より、「永代供養墓苑合同供養祭」※荒天時は本堂
- 「送り火萬灯会」午後六時半〜午後八時 ※荒天時は本堂

編集後記

高齢者を対象としたワクチン接種が始まったものの、イギリス型などの変異株の感染拡大が続く、コロナ禍の収束が見通せておりません。また、ミャンマーやパレスチナでの紛争が続くなど、不安の多い世情です。そんな時こそ、生老病死の苦しみを乗り越えるためにお釈迦さまが遺してくださった教えをたよりにしたいものです。(副住職)

次号のご案内

令和三年八月中旬に発行予定です。